

# 仙台市地方創生総合戦略 概要版

## 第1部 総論

- 本市の人口減少局面への移行を視野に、東京圏への一極集中等の諸課題に対応する地方創生の取り組みを引き続き推進するべく、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）や国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた、本市版の第3期戦略となる「仙台市地方創生総合戦略」を策定する。
- 以下のとおり、本市の「地方創生実現に向けたデジタル活用の基本的な考え方」を定め、これまでの取り組みを継承しながら発展させていく。

- ◆豊かな市民生活とまちの包摂的成長の実現を目指し、まちづくりや行政手続き等あらゆる場面でデジタル技術を積極的に取り入れ、市民サービスの充実や社会課題の解決を図る。
- ◆デジタルの力を生かしながら、地域の歴史や文化、強みに根差した多様な「ひと」の交流と活躍の場を創出し、魅力の向上や経済活性化につなげる。

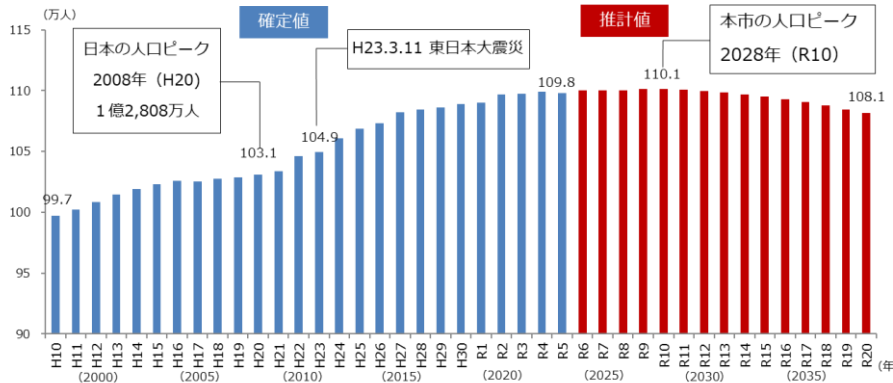
- 対象期間は、第2部：人口ビジョンは2070（令和52）年まで、第3部：戦略は2024（令和6）年度～2026（令和8）年度とする。

趣旨と位置付け

## 第2部 人口ビジョン

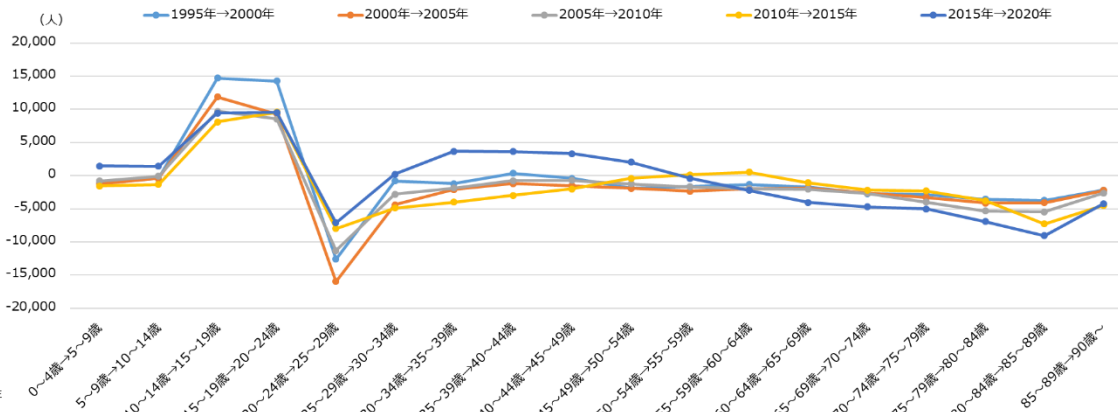
- 人口のピークアウトが目前に迫る。

人口の推移（国勢調査（総務省統計局）、令和6年以降は本市の将来人口推計による）  
令和5年以前は各年10月1日現在の推計人口、西暦表示年のみ国勢調査結果による確定値



- 20歳～24歳から25歳～29歳になるときの大規模な転出超過は依然として続いている。

本市の年齢階級別人口の時系列分析（国勢調査（総務省統計局）、年齢不詳人口を除く）



- 出生数や出生率、合計特殊出生率、婚姻届出率はいずれも減少傾向にある。
- 産業人口については第3次産業が中心となっており、また、中小企業が本市経済の主な担い手となっている。

- 2028（令和10）年頃をピークに本市人口は減少に転じ、2050（令和32）年から2055（令和37）年にかけて100万人を下回ると見込まれる。人口減少速度を抑制し、「世界から選ばれるまち」として持続的に活力を生み続けるため、以下のポイントに着目して各種施策を展開する。

若い世代の流出抑制・流入促進

子育て世代の流入促進と出生率の向上

産業人口の変化への対応

その他本市の特性を生かした課題解決

本市人口の現状

将来展望

○本戦略は、「仙台市基本計画」や「仙台市実施計画」を基本とし、国の総合戦略等の趣旨や政策体系を勘案しながら、市民意見や有識者等へのヒアリング結果を反映して再構成したものである。右記の地域ビジョンのもとに基本目標を設定し、デジタル技術を積極的に取り入れつつ、本市の特性等を踏まえた施策を展開する。

○基本目標ごとに設定する数値目標の達成状況等により効果検証を行い、その結果を公表する。また、国の動向も踏まえながら、必要に応じて基本目標の実現に向けた施策や事業の見直し・改善を行う。

○SDGsの考え方は本市の施策全般に通じており、防災環境都市推進等のグローバルな施策展開を図るうえでも重要な視点であるため、本戦略の推進においても多様な主体との連携に係る共通理念とする。

4つの地域ビジョン（仙台市基本計画2021-2030における「目指す都市の姿」）

- ①杜の恵みと共に暮らすまち
- ②多様性が社会を動かす共生のまち
- ③学びと実践の機会があふれるまち
- ④創造性と可能性が開くまち

**基本目標1：地域経済の中心である中小企業の活性化や、科学技術を核とするイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります。**

- 数値目標 ①事業拡大に取り組む予定がある企業割合：30%（2026年度内）  
②労働者数（個人市民税の納税義務者数）：490,000人（2026年度内）
- 施策等の方向性 ①地域企業の成長促進 … 地域中核企業輩出支援パッケージ、地元企業競争力強化 等  
②ローカルビジネスの持続的発展 … 中小企業経営基盤強化、中心部商店街活性化 等  
③社会課題解決にも寄与するイノベーションの促進 … X-TECHイノベーション、ウェルビーイング産業創出 等  
④起業家・スタートアップに対する重点的な支援と多様な波及効果の創出 … 起業家・スタートアップ支援、産学官協働プロジェクト推進 等

**基本目標2：地域の魅力発信による交流人口拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引を図り、新たな「ひと」の流れをつくります。**

- 数値目標 ①市内年間宿泊者数：650万人泊（2024年※1）  
②誘致による企業立地件数※2：100件（2024～2026年度合計）  
③首都圏大学生等の就職による移住の支援件数：150件（2024～2026年度合計）
- 施策等の方向性 ①国内外からの誘客・滞在の促進と発信力強化 … 観光、インバウンド、東北連携 等  
②多くのひとを惹きつける都市の拠点づくり … 勾当台・定禅寺通エリア、仙台駅周辺エリア、青葉山エリアのまちづくり  
③都心再構築プロジェクト等を通じた都心の機能強化と回遊性向上 … 開発促進、企業立地、リサーチコンプレックス、まちなかウォーカーブル、MaaS 等  
④若い世代を中心とした仙台への定着と活躍の促進 … 人材確保・定着、住み替え支援、仕事・子育て両立支援 等

**基本目標3：希望する方が安心して結婚・出産でき、子育てを楽しめる社会の実現とともに、子どもの成長と可能性への挑戦を支える教育環境づくりに取り組みます。**

- 数値目標 ①子育てを楽しめる環境づくりに関する市民の評価※3：2.80点（2027年度調査）  
②児童生徒自身の情報活用能力に関する肯定的評価※4：探求スキル 概ね90%（2027年度調査）
- 施策等の方向性 ①安心して子どもを迎え、健康的に子育てができる環境づくり … 結婚新生活支援、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援 等  
②子ども・子育ての応援 … こども財団、子育て応援の機運醸成 等  
③子どもや若者の安全・安心確保 … 児童虐待防止、社会的養育推進、いじめ対策 等  
④子どもの可能性をひらく教育環境づくり … ICT教育、不登校児童生徒等支援 等

**基本目標4：高度な都市機能がコンパクトに集積し、豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、持続可能でしなやかな「まち」をつくります。**

- 数値目標 ①市内温室効果ガス排出量：502万t-CO2以下（2030年度確定値※5）  
②災害対策や防災・減災に関する市民の評価※3：3.10点（2027年度調査）
- 施策等の方向性 ①防災環境都市づくり … 防災環境都市、復興メモリアル、BOSAI/GREEN-TECH 等  
②地域防災力の向上 … 防災学習（VR活用）、SBL養成・活動支援 等  
③脱炭素・資源循環型都市づくりと環境分野におけるプレゼンスの向上 … 脱炭素、ごみ減量・リサイクル推進、生物多様性 等  
④豊かな自然環境を生かした快適な都市環境の形成 … 公園・河川等利活用、下水道・道路等整備・保全、流域治水 等  
⑤機能集約型都市づくりと郊外や海辺等のまちづくり … 交通政策、宮城地区西部・秋保地区・海浜エリア等の活性化 等

**基本目標5：地域特性を踏まえ、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます。**

- 数値目標 ①仙台市が住みやすいと思う市民の割合※6：94%（2027年度調査） ②仙台市に住み続けたいと考える市民の割合※6：90%（2027年度調査）
- 施策等の方向性 ①暮らしを支える地域づくりと交流の促進 … 地域づくりパートナーサポート、Fun,Fan,Find青葉、長町地区まちづくり、泉中央地区活性化、地域福祉、介護、ひきこもり等支援、自立支援 等  
②市民の健康増進と医療提供体制の強化 … 健康寿命延伸、介護・フレイル予防、スポーツ、医療政策 等  
③ダイバーシティまちづくりの推進 … 女性・若者・障害者・高齢者等あらゆるひとの活躍、外国人が暮らしやすいまちづくり、性の多様性の理解促進 等  
④都市経営の基盤強化 … Full Digitalの市役所、データ活用、業務改革、人材育成推進・組織力強化、公共施設マネジメント 等

※1 2024（令和6）年度末に策定予定の交流人口拡大に向けた新たな観光戦略を踏まえて改定予定  
 ※2 リサーチコンプレックス関連の研究開発拠点立地を含む  
 ※3 仙台市市民意識調査における、関連する設問に対する評価点の平均値（高い評価より4点、3点、2点、1点）

※4 小3、小6、中3の児童生徒を対象とした情報活用能力意識調査における関連設問の「とてもそう思う」「そう思う」の回答割合  
 ※5 森林等による吸収量を含む  
 ※6 仙台市市民意識調査における関連設問の「とても住みやすい/住み続けたい」「どちらかといえば住みやすい/住み続けたい」の回答割合